

## ✓ 水害から身を守りましょう!

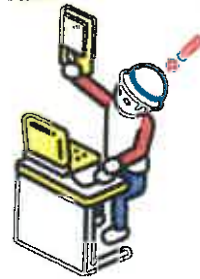
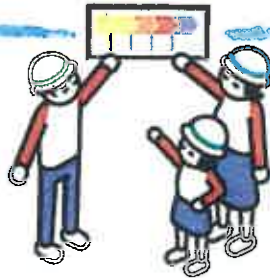
新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中、各地で記録的な大雨による土砂災害や河川の氾濫が発生し、多くの住民が避難を余儀なくされています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。埼玉県でも昨年、台風19号の大雨で大規模な浸水被害に見舞われました。今年も大雨が降り続き、注意が必要です。

しかし、水害は地震と違って予測できる災害です。早めに行動すれば被害を減らすことができます。

### ●水害から身を守る3つのポイント

1. 事前の確認
2. 情報入手
3. 早めの避難

埼玉県のマニュアルブックから一部紹介します



## 1. 事前の確認

自宅周辺のハザードマップ、確認していますか?

- 避難時は、自分のいる場所をハザードマップで確認した上で、危険度の高い区域である場合には避難することが大切です。
- 埼玉県内では、49市町が作成を義務づけられており、すべて作成を完了しています。  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1007/kouzuihm/documents/map.pdf>
- 各市町のホームページや窓口などでご覧になることができますので、お住まいの各市町へお問合せください。
- 国交省が運営する「ハザードマップポータルサイト」でも簡単に調べられます。  
<https://disaportal.gsi.go.jp/> QRコードは⇒

## 事前の確認① 住んでいる場所の特徴



お住まいの市町村のハザードマップを見て、**自分が住んでいる場所がどういった場所なのか**、確認しましょう。

## 1 洪水ハザードマップで確認

● 浸水する深さ… ( )m

浸水の深さイメージ

9m

● 想定されている氾濫河川との距離

( )川)… ( )m

6m

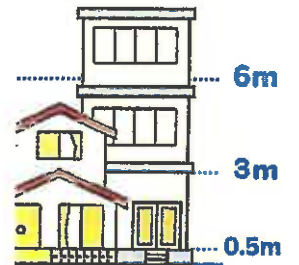
( )川)… ( )m

3m

● 最寄りの指定緊急避難場所等への距離

… ( )m

0.5m



### 知っておこう

500m歩くのにかかる時間(目安)

・大人 約6~8分 ・高齢者 約10分



## 2 土砂災害ハザードマップで確認

● 住んでいる場所が土砂災害警戒区域等に

( 入っている ・ 入っていない )

● 避難経路が土砂災害警戒区域等に

( 入っている ・ 入っていない )



▲国交省ハザードマップポータルサイト

## 事前の確認②

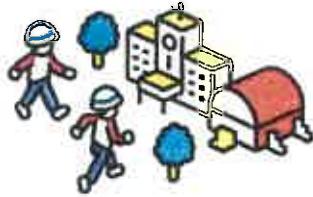


住んでいる場所と状況で避難行動は変わります。状況に

### 1 指定緊急避難場所等への「立退き避難」

例えば

- 浸水する深さが 50 cm 以上となる地域
- 長期間の深い浸水が予想されるとき
- 土砂災害警戒区域等に入っているとき



※ 避難の原則は「立退き避難」です。

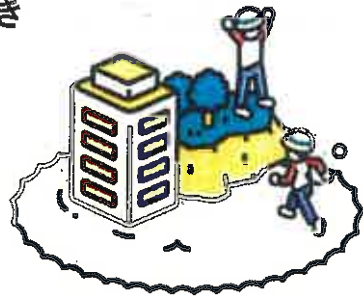
事前の準備と早めの判断と行動が必要です。

### 2 近隣の安全な場所への「立退き避難」

- 浸水が始まって移動が危険なとき

[安全な場所の例]

- 3 階建て以上の強固な建物  
(浸水する深さ 5m の場合)
- 小高い場所



### 3. 早めに避難する

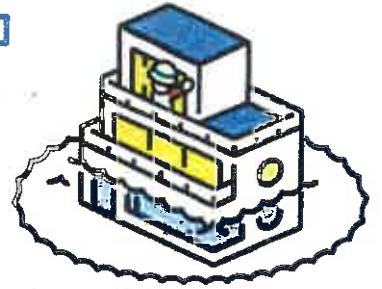
## 避難先

応じて避難できるよう、複数の避難場所を想定しておきましょう。

### 3 家の中の安全な場所で「屋内安全確保」

[外へ出る方がかえって危険なとき]

- 夜間や激しい降雨で避難路上の危険箇所が分かりにくい
- 流れがあり、ひざ上まで浸水している(50cm 以上)
- 浸水 20cm 程度だが、水の流れる速度が速い

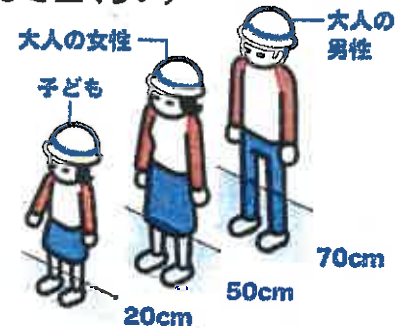


[安全な場所の例]

- 上の階
- がけから離れた部屋

知っておこう

人が行動できなくなる水の深さ  
(ひざ上くらい)



● 想定する避難場所① ( )

● 想定する避難場所② ( )